

2008年度 事業および運営に関する報告案の件

(2008年4月～2009年3月)

[2008年度の総括]

文責：代表 古賀桃子

[事業面] 後段の「事業報告の詳細」参照

1 事業展開において重視した点

ふくおかNPOセンターでは、設立当初より、事業の2つの柱として、“コンサルティング”(草の根のNPOのサポート)および“プロモーティング”(NPOの社会的な啓発)を掲げて活動を進めてきた。

それから6年を経た現在、福岡県内のNPO法人も1千団体を上回り、依然、緩やかな増加傾向にある一方、福岡県を含む全国各地で、情報公開(事業報告書の提出等)の義務を怠っているところも多いと聞く。他方、福祉・医療・環境・子育てなど、私たちの生活課題の深刻化・顕在化は進むばかりで、かつ、社会・経済・政治の状況も世界的に流動的な様相をきたしつつある。そのような中、「何か地域のためにできれば」、「もっと安心して暮らせる社会づくりを」という思いやこころざし、問題意識を抱き始める市民(個人)も増えつつある印象である。おそらく、NPOや地域活動などに関心を寄せる人たちは、今後も増えることが予測される。このような中、法人化している団体も含めたNPO関係者や一般市民が、NPOやボランティアの基本的理解を確かめたり、自らの活動のありようについての認識や検証を促すことは、やはり意義深いと考える。

並行して、多くの自治体は、ここ数年来、「協働」や「市民活動支援」といったキーワードを施策に打ち出しており、その流れの中で、NPOへの資金的支援や市民活動支援拠点施設の整備に乗り出すところも出てきている。

また、企業においても、CSRへの関心が、福岡のような地方都市にある企業でも徐々に高まっており、その一環として、NPOへの支援や連携関係を模索する企業も出てきている。

このような個人・地域・社会の動向を傍目に、2008年度についても、NPOを対象とした研修事業や、企業・行政などのセクター毎の関係者や一般市民を対象とした啓発事業に、一層の力を注いだ次第である。

2 事業の主な実施手法

2008年度は、前年度に引き続き、自治体からの受託事業が、研修・啓発のためのフォーラム・調査研究等において増加したが、2カ年ないし3カ年続けて担当したものもあり、それと相まって多様なセクターの方々との出会いの機会も増え、ネットワークに厚みが増している感がある。そこで、さらにそうしたネットワークを素地にしながら、NPOの環境整備に少しでもつなぐべく、ゆるやかな交流のための「5丁目カフェ うさぎ」、企業から提供いただいた物品類をNPOに橋渡しする「つこーちゃん?」、また、企業および行政の各関係者の有志による自主勉強会「企業市民ネット九州(KIQ)」・「パートナーシップ研究会(ぱ～研)」への参画・運営協力などの自主活動にも力を入れた。

3 これまでになかった点

ここ数年来、他地域の組織からの、事業共催や運営協力等の依頼が増えているが、今年度も、経年でタイアップをさせていただいている Panasonic NPO サポートファンド(08年7月 助成プログラムの説明会&組織運営ブラッシュアップのためのワークショップ) および 日本財団公益コミュニティサイト“CANPAN CSRプラス”(08年8月「企業のための社会活動セミナー」) の他、新たに、天神エフエム株式会社(08年6月「ふくおかのNPOを知る展」) および 財団法人トヨタ財団(08年10月 助成プログラムの説明会、08年12月 シンポジウム「民が主役となった地域社会の実現へ」) とのパートナー関係も生まれた。また、07年12月より始動していた地元の有力紙・西日本新聞社と協働での連載企画「NPO草の根ひとトーク～桃子が聞きます～」も、08年12月、25回の掲載で以て無事完結した。最終回では、担当記者によるインタビューと執筆のサポートの下、古賀と北九州NPO研究交流会の山崎代表での座談会が実現し、NPOに寄せている展望や期待もさることながら、NPOの活動・運営のあり方について、提言的な余韻を残しながら締めくくることができた。

企業から提供された物品をNPOに橋渡しする「つこーちゃらん?」の提供物品数が増え、かつ企業にも幅が出てきた。

講師派遣事業において、行政職員対象の研修事業や、NPO支援組織・施設のスタッフ対象の研修事業の依頼が増え、特に前者については、県内外にて、年間のレギュラー科目として、通年で複数回担当する案件が増えた。これが起因して、堅調な自主事業の収入増にもつながった。

4 反省点

07年度の諸々の活動メニューの深化を、という基本姿勢で取り組んだ年ではあったものの、事業のボリュームが増した感があり、もろもろの取り組みについて、綿密な記録化や、情報の整理等まで至らぬまま、追われるままに過ぎてしまった。

[運営面]

1 運営面において重視した点

設立当初より、人材および資金が慢性的に不安定であることが懸案であった。とりわけ、会費収入・寄附金収入・自主事業収入等の自主財源の充実による、運営体制の強化が課題であるため、特に会員募集および自主事業の充実を念頭に置いていた。会員については伸び悩み状態で、努力不足に他ならない。他方、講師派遣収入の増加が手伝い、財源のうち自主事業収入の占める割合が前年度に比べて伸び、受託事業収入の割合にもやや拮抗する形となった。

2 2008年度の主な運営

理事会

2005年度より理事8名(うち、理事長1名・副理事長2名) 監事1名という体制にて運営。理事会を2回(10/14 第14回理事会、4/24 第15回理事会(決算理事会))開催した。その他、メーリングリストを日常的に活用し、02年の設立以来運用している役員(理事・監事)も含む応援団専用ML「えふえぬし」の他、

09年3月には役員専用MLも立ち上げ、日常的な協議や情報共有を図った。

事務局

06年11月より吉富まゆみがプロジェクトスタッフとして週3回のパートタイムとして勤務していたが、07年6月よりフルタイムの専従スタッフとなり、同年12月には事務局長に就任した。前年度より、常勤2名体制を実現することができおり、“日々、古賀・吉富の2名が担っている”という当センターの活動像も、以前よりもよく知られている印象である。

ボランティア受け入れ

06年度から、少しずつながら、ボランティアやインターンが活動する機会が増えてきた。また、「ぼらタイム」をはじめ、風通しの良い組織づくりのための試みをしているところである。こうした正規のボランティア受け入れプログラムの他、空いた時間を活用した単発的な個人ボランティアが目につき、中には常連化されている方もおられる。各人とのコミュニケーションの機会ともなるため、事務局としては喜ばしいことであった。

3 これまでになかった点

理事会

引き続き、理事会のイニシアティブを強化するべく、会議や日常的なメーリングリストの積極的な活用等(前述)を通じて、役員間の情報共有とチームワーク強化に努めた。また、活動によっては、理事が自ら得意や関心を活かし、主体的に参画ないし担当するものもあった。

事務局

常勤である代表・古賀が、審議会等の会議や遠方への出張などで、事務局を不在にする局面が増えたが、事務局長の吉富との緊密な関係を図りながら、事務局を不在にせず、問合せ等に応答できるよう努めた。

事務局長・吉富の基本給を、18万円 20万と昇給し、社会保険にも加入した。

来客

事務所を中央区薬院から中央区天神に移転して4年経つが、天神の地の利も手伝ってか、県内・外からの来客が益々増えている。用件は、視察・打合せ・新規事業のプレゼン等、属性もNPOの他、企業・行政等様々である。設立当初から、多様なネットワークの中で、新たな方向性や具体的な活動を生み出している当団体としては、こうした来客の増加は喜ばしいことである。

4 反省点

例年の反省点ではあるが、会員拡大については、依然、努力不足の感が残り、特に昨年度はやや減少となっている。08年度総会においても懸案とした、「すてきなNPOとの出会いプロジェクト」の強化および自助努力(会員募集手法や会員特典の見直し)が急務だ。また、理事会の開催頻度も、出来ればもう少し増やしたいところである。

2008年度は、前年度の活動の深化を図ることを基本的な方針としていたため、上記文章も、一部の加筆をしながらも、全般的に2007年度の記載内容を踏襲した内容とさせていただいた。

[事業報告の詳細]

「 」は08年度中、新規に取り組んだもの。それ以外は継続事業。

コンサルティング ～草の根活動を円滑かつ効果的に行うために～

「NPO・ボランティア講座」

(主催：福岡県NPO・ボランティアセンター、企画運営：当センター)

- ・福岡県NPO・ボランティアセンターの公募事業として06年度より実施。
当センターが担当して3年目。
- ・08年12月～09年3月の期間、県内各地で実施。
- ・実施回数=24回、参加者数=614名 のべ人数

【通年】

「NPOヨモヤマ相談。」

- ・計2件対応(有料対応分/¥2,000 前年度比 -3件)
- ・NPO立ち上げ、法人化、組織づくり等
- ・この他、個別相談に準ずる内容に関する対応状況 ... 電話=55件(前年度比 +31件)
メール=150件(前年度比 +28件)

「NPO・ICTどんとこいプロジェクト」(<http://npo-ict.net/>)

- ・マイクロソフト社のイベント“NPO DAY”における講師派遣
(4月@金沢会場を古賀、6月@香川会場を河合氏&古賀で担当)
- ・福岡県「ふくおか協働Web」開発面での積み残しの課題対応、保守管理等(受託)

プロモーティング ～社会的な啓発、提案、企画開発、広報～

「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」

(07年5月～ 主催：日本NPOセンター、共催：(財)児童健全育成推進財団、
協賛：(財)住友生命社会福祉事業団)

- ・行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。専用サイト <http://www.npo-dondoko.net/>
- ・08年度からは、前年度より1地域増えて、下記の4地域で実施。
金沢(いしかわ市民活動ネットワークセンター) 仙台(せんだい・みやぎNPOセンター)・京都(きょうとNPOセンター 新規) 福岡(当センター)
- ・大里東児童館を核とした門司エリアの計4館、南小倉児童館を核とした小倉南エリアの計4館、小嶺児童館(いずれも北九州市)にて、08年10月～11月実施。

「5丁目カフェ うさぎ」

(07/07～ 主催：当センター)

- ・異分野の人たちが月に一回ゆったりと茶菓子をつまみながら語り交流できる場として開催。奇数月は当センターの事務所、偶数月はNPOの活動拠点で開催。
- ・実施回数=12回、参加者数=54名 のべ人数

「企業のための社会活動セミナー2008

～これからのCSRの展開のあり方を考える～

(8/07 共催：ダイバーシティ研究所)

- ・福岡県内の企業の社会貢献活動担当者ら25名が参加

「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」

(主催：福岡県市町村職員研修所、運営協力：当センター)

- ・9月(入門編)および11月(実践編)の計2回実施。各回とも2日間プログラム。
- ・11月の実践編には、NPO関係者・企業関係者・県内自治体職員が一同に会する。

「ふくおか協働フォーラム2009 ～NPOと企業と行政...今?なぜ?協働なの?～」

(主催：福岡県NPO・ボランティアセンター、企画運営：当センター、協力：KINGYO/NPO・企業・行政のよりよい協働のあり方を考えるイベント実行委員会)

- ・福岡県NPO・ボランティアセンターの公募事業として06年度より実施。当センターが担当して3ヵ年目。
- ・2/7 久留米市にて終日プログラム(基調講演+分科会3ヶ+全体会)で開催
- ・NPO、行政、企業の各関係者らが参加。
参加者総数=119名
(午後の分科会参加者...分科会1=22人、分科会2=23人、分科会3=21人)

「ふくおか協働キャラバン2009」

(主催：福岡県NPO・ボランティアセンター、企画運営：当センター、協力：KINGYO/NPO・企業・行政のよりよい協働のあり方を考えるイベント実行委員会)

- ・福岡県NPO・ボランティアセンターの公募事業として07年度より実施。当センターが担当して2ヵ年目。
- ・3/1=直方会場(直方市役所)、3/14=福岡会場(福岡市婦人会館あいれふ)、3/15=中間会場(なかまハーモニーホール)、3/21=筑紫野会場(筑紫野市生涯学習センター)、3/22=大牟田会場(大牟田市中央公民館)の5箇所で開催。
- ・各セクターの担当者同士が登壇しての複数の事例発表+自己紹介+交流という形式。
- ・NPO、行政、企業の各関係者らが参加。
参加者総数=212名
(直方会場=30名、福岡会場=53名、中間会場=32名、筑紫野会場=68名、大牟田会場=29名)

「NPO草の根ひとトーク ～桃子が聞きます～」

(07年12月～、西日本新聞社とのコラボ企画)

- ・取材先のNPOの選定および取材～原稿化まで、一連の執筆作業を古賀にて担当。
- ・原則、毎週月曜付朝刊の県版ページにて連載。計25回で完結。

【通 年】

「佐賀市協働ステップアップ事業に関するコーディネーション委託業務」

(07年5月～、2ヵ年目)

- ・佐賀市と当センターとの協働で、佐賀市の協働の実態を検証し、施策をブラッシュアップするためのプロジェクト。

- ・活動内容

【19年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング)、トップ研修(三役含む)、協働に関する

るNPOおよび行政双方からの相談対応、「佐賀市協働情熱チーム」の編成 + 特訓（研修）「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催

【20年度実績】

実態調査（アンケート+ヒアリング）08年10月より「協働相談会」（予約制の個別相談サービス）を開設、「佐賀市協働出合いフェスタ」の開催（計3回/事例発表と交流）市職員対象の「佐賀市協働情熱チーム BootCamp!」（11月）およびNPO&市職員対象の「佐賀市の協働を進めるトレーニング研修 “協働劇場”」（09年1月）（協働推進に係る人材育成）

「すてきなNPOとの出合いプロジェクト」（06年・秋～）

- ・個々のNPOが有する会員制度のブラッシュアップと活用を通じ、市民参画型の組織づくりを図ることによって、組織基盤や社会からの信頼等における向上を進めることを目的。専用サイト <http://www.cool-npo.net/>
- ・複数のNPO同士で力を合わせて進めるべく、福岡エリアで各分野で活動するNPO8団体で実行委員会を編成

企業からの寄贈品のコーディネーション「つこーちゃらん？」

- ・企業からここ数年来増えてきた、物品類のNPOへの寄贈依頼案件を、窓口を常設し、NPO・企業それぞれを対象に、一定の手続の下、コーディネート。
- ・専用サイト <http://www.npomono.info/>

その他（事業共催・講師派遣等）

「ふくおかのNPOを知る展」

（6/17～23 協力：天神エフエム株式会社）

- ・ソラリアプラザ1Fイベントスペースゼファにて開催。NPO8団体が出展。

「Panasonic NPOサポート ファンド助成プログラム公募説明会 in 福岡」

（7/19 共催：松下電器産業株式会社、2カ年目）

- ・天神クリスタルビルにて開催、複数の分野のNPO関係者15名が参加
- ・今年度は、助成プログラムの説明とあわせて、組織運営をブラッシュアップするための研修ワークショップも実施。

「2008年度地域社会プログラム公募説明会」

（10/27 主催：財団法人トヨタ財団、協力：当センター）

- ・アクロス福岡にて開催。NPO、行政の各関係者ら30名が参加。

「シンポジウム「民が主役となった地域社会の実現へ

～地域に根ざした「仕組み」づくりを考える～」

（12/6 共同主催：財団法人トヨタ財団・当センター、後援：福岡県・西日本新聞社）

- ・天神ビルにて開催。NPO、行政、企業の各関係者ら40名が参加。

【通 年】

各セクターの有志による研究会活動への参画

- ・「企業市民ネット九州（通称：KIQ/きっく）」
企業の社会貢献担当者ないし関心者の有志が主体、08年1月より始動
月例ペースで勉強会を開催、県内の企業19社・45名が参加
- ・「パートナーシップ研究会（通称：ぱ～研）」
行政の市民活動支援および協働推進の担当者の有志が主体、08年1月より始動
議会等繁忙期を除いた時期に開催、福岡および佐賀の12の基礎自治体・18名が参加

講演・講座等 * 2008.4月～2009.3月実施分

- 福岡県市町村職員研修所 一般職員二部研修 講師 [通年/協働]
福岡県職員研修所・福岡県市町村職員研修所 合同研修
NPO・企業・行政パートナーシップ研修 講師 [協働]
- 島根県自治研修所 中堅職員研修 ・ 新規採用職員研修 講師 [協働]
宗像市市民活動交流館 開設記念シンポジウム パネラー
Microsoft 「NPO DAY 2008」 金沢会場 講師 [伝える力をUPするプレゼンテーション]
大木まちづくりセンター 講演講師 [NPOの展望と課題]
北九州市 「北九州市民カレッジ」 講師
Microsoft 「NPO DAY 2008」 高松会場 講師
[みるみる変わる！NPOのためのワンポイントIT活用術]
- 大分県 建設技術センター 中堅技術職職員
ワークショップ ファシリテーター研修 講師
筑紫野市（福岡県） 行政職員研修（階層別、全24回） [協働、コミュニティ]
TOTTO株式会社 「TOTTO水環境基金」審査会 講話 [企業の社会貢献活動・CSR]
八女市立図書館 運営受託NPO 理事研修 講師
大分県 おおいたNPO活動支援情報交換会 講師
[NPOの活動環境の最前線を考える ～NPOの支援と協働のあり方～]
文部科学省 平成20年度社会教育主事講習 講師 [NPOの組織運営]
国立夜須高原青少年自然の家 「夜須高原やる気まんまん体験塾」 講師
[中学1年生対象の社会活動研修]
- いわくに市民活動支援センター（山口県） 講師 [人が生きる組織づくり]
福岡県NPO・ボランティアセンター 「企画力&プレゼン力 ピカピカ講座」 講師
(財)福岡県高齢者・障害者雇用支援協会 セカンドキャリア支援セミナー 講師（全4回）
(財)公園緑地管理財団 「公園管理運営スキルアップセミナー」 講師
[市民参加、地域連携の実践を学ぶ]
- 岡山県 備中県民局 協働に関する講演会 講師 [協働]
北九州市 市民活動実践者育成講座 講師 [現場発信力!～ココロに残る個性の伝え方～]
岡山県 備中県民局 協働に関する研修ワークショップ 講師
「日経シニア・ワークライフ・フォーラム2008」 パネルディスカッションコーディネーター
筑紫野市（福岡県） 「政策決定参画セミナー」 講師 [協働のまちづくり]
TOTTO株式会社 ステークホルダーダイアログ コーディネーター（福岡会場、広島会場）
日本青年奉仕協会 「青少年ボランティア活動推進者セミナー2008」 講師
北九州市 「生涯現役 夢追塾」 NPOコース 講師（全5コマ）
福岡県市町村職員研修所 政策課題研修（四王寺塾） 中間発表会 コメントータ
福岡県 「NPO・ボランティア団体と企業、行政の協働フォーラム」 パネラー
佐賀県生涯学習センター・アバンセ 生涯学習フォーラム パネラー
鳥栖市（佐賀県） 「市民協働啓発講演会」 講師 [協働]
春日市まちづくり支援センター（福岡県） 「団塊世代地域デビュー応援講座」 講師
福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 研究発表会 コメントーター
沖縄県 「NPOと行政の協働」講演会 講師
徳島市市民活力開発センター 平成20年度市民活動成果発表会 講師・パネラー
つやま市民活動センター（岡山県） 「みまさか協働フォーラム」 パネラー

福岡県 ふくおか社会貢献活動表彰式典 事例発表コーディネーター
日本NPOセンター 「NPOと行政の対話フォーラム`09」 分科会コーディネーター
北九州市 「北九州市民カレッジ」 講師 [活動のふりかえり&展望]
柳川市 協働に関する全庁職員研修 講師 [協働]
福岡市西区社会福祉協議会 西区ボランティアグループ研修会 講師 [組織の活性化]
大牟田市 「IT&プレゼン講座」 講師

座談会・執筆等

九州労働金庫 発行 広報誌「夢ろうきん」
(連載 "教えて!NPO")
IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所) 発行 「NPOマネジメント」
(連載 "もっと、もっと、コミュニケーション!" 12月刊行のNo.58で連載終了)

ITによる情報発信関連の取り組み状況

ホームページ[NPO庵]

- ・アクセス数 49,939 (09/05/01現在 一日あたり平均24)
- ・事務局日記ブログ「NPO庵ノ嘶」(05年11月～、http://blog.livedoor.jp/npo_an/)

メルマガ[NPO庵だより]

- ・vol.103 この他、号外3件(09/05/01現在)
- ・配信登録者数 1814名(09/05/01現在、前年比+371名)

情報提供用ML[古今東西NPO情報]

- ・04年10月より始動、616通(09/05/01現在)
- ・配信登録者数 226名(09/05/01現在、前年比±1名)
- ・NPO・自治体・企業などの、社会貢献分野にまつわる全国各地の最新トピックを随時配信
- ・ブログも同時運営(http://blog.livedoor.jp/npo_news/)

外部からのコンタクトへの対応状況 1ページ目の相談業務 および 下記のマスメディアの対応件数を除く。

電話 計786件(08/04/01~09/03/31、前年比+167件)
メール 計150件(08/04/01~09/03/31、前年比-2件)
来訪等 計62件(08/04/01~09/03/31、前年比+4件)
合計998件(前年比+169件)

メディア対応状況

取材関係

- ・新聞社より随時(西日本・朝日・読売・毎日各部局)
- ・電話取材、来訪 計80件(08/04/01~09/03/31、前年度比+8件)

記事掲載等

- ・新聞(イベント案内記事・コメント等、適宜)

全国ネットワーク関連

「社会貢献シンポジウム&NPOと企業の対話フォーラム」、「NPO支援センターと企業の社会貢献担当者懇談会」
(08/07/31-08/01@東京、古賀・吉富が参加、主催:日本NPOセンター)
「市民セクター全国会議2008」、「NPO法施行10周年イベント」、「民間NPO支援

センター・将来を展望する会（通称：CEO会議）」

（08/11/29-12/1@大阪、古賀・吉富が参加、主催：日本NPOセンター）

「NPOと行政の対話フォーラム」

（09/02/25@横浜、吉富が参加（古賀は出演者）、主催：日本NPOセンター）

「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」への参画（通年）

「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画（通年）

事務局関連

ニューズレター「みみたぶ」月刊（07年8月～）

月例ボランティア参加プログラム「ぼらタイム」

5周年記念冊子「5」制作

「雑草CUPボウリング大会」開催（事務局を担当、第4回=08/04/04）

参 考

委員・役員等（代表・古賀担当分）

・NPO関係

特定非営利活動法人MYP 理事

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか 理事

特定非営利活動法人NPO博多まちづくり 理事

アートサポートふくおか 監事

福岡ライフセービングクラブ 監査役

NPOさが 監事

・行政関係（代表・古賀担当分、任期中のもの）

H.17年度～ 福岡市「コミュニティビジネスアドバイザー」

H.18年度～ 全労済環境活動助成審査員（西日本地区担当）

H.18年度～ 宗像市「人づくりでまちづくり事業」審査員

H.19年度～ 宗像市「宗像市市民サービス協働化提案制度」審査委員会 委員

H.20年度～ 福岡県「福岡県生涯学習審議会」委員

H.20年度～21年度 佐賀市「市民活動プラザ運営委員会」委員

H.20年度 鳥栖市「鳥栖市市民活動支援補助金」懇話会委員

H.21年度 筑紫野市「市民自治基本条例審議会」委員

H.21年度 春日市「春日市男女共同参画審議会」委員

H.21年度～ 福岡県「福岡県青年の翼実行委員会」委員

H.21年度～ 内閣府「安心・安全で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」
部会委員

（社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク 代表協議者として）

・その他

文部科学省「社会教育主事講習」講師（2002～、「NPOの法と組織」担当）

全労済 環境活動助成 西日本地区審査員（2006～）